HP Enterprise Collaboration

Windows ®オペレーティングシステム向け ソフトウェアバージョン: 1.1



ドキュメントリリース日:2012年6月 (英語版) ソフトウェアリリース日:2012年6月 (英語版)



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有 効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する文書類、 および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用 ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2012 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

本製品には 'zlib' 汎用圧縮ライブラリのインタフェースが使用されています。 'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご 利用ください。

http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの取得登録は、次のWebサイトから行なうことができます。

http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html(英語サイト)

または、HP Passport のログインページの [New users - please register] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフト ウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。

http://support.openview.hp.com

HPソフトウェアが提供する製品、サービス、サポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HPソフトウェアサポートWebサイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポートケースとエンハンスメント要求の登録とトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート 窓口の検索
- •利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

ー 部を除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDの登録は、次の場所で行います。

http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html(英語サイト)

アクセスレベルに関する詳細は、以下のWebサイトにアクセスしてください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

目次

コンセプトガイド	1
目次	5
HP Enterprise Collaborationとは	7
概要	7
コンテキストベースの会話フロー	8
HP Enterprise Collaboration文書 ライブラリ	10
HP Enterprise Collaborationのコンポーネント	11
HP Enterprise Collaborationコンポーネントの概要	11
会話	11
会話のコンテキスト	12
参加者	12
参加者候補	12
ファセット	12
添付ファイル	12
表示設定	13
参加者コントロール	13
会話の受信トレイ	13
検索	13
分散コラボレーション	14
製品の統合	14
HP Enterprise Collaborationユーザーインタフェース	15
[コンテキストオブジェクトの追加] ダイアログボックス	16
ユーザーセレクター	17
ユーザーの追加	17
複数ユーザーの追加	
電子メールによる参加者の追加	18
[ファイル/URLの追加] ダイアログボックス	19

	20
会話の受信トレイ	20
会話のステータスインジケーター	
[会話] ウィンドウ	22
電子メール通知	23
サマリー電子 メールのパラメーター	24
会話の表示設定	25
[会話の一時停止] ダイアログボックス	25
デスクトップクライアント	
デスクトップクライアントのアイコンとアラート	
デスクトップクライアントのアイコンとアラート デスクトップクライアントのアイコン	
デスクトップクライアントのアイコンとアラート デスクトップクライアントのアイコン デスクトップクライアントのアラート	
デスクトップクライアントのアイコンとアラート デスクトップクライアントのアイコン デスクトップクライアントのアラート デスクトップクライアントのショートカットメニュー.	
デスクトップクライアントのアイコンとアラート. デスクトップクライアントのアイコン. デスクトップクライアントのアラート. デスクトップクライアントのショートカットメニュー. HP ECへの接続	
デスクトップクライアントのアイコンとアラート. デスクトップクライアントのアイコン. デスクトップクライアントのアラート. デスクトップクライアントのショートカットメニュー. HP ECへの接続 HP ECからの切断	26 26 27 28 28 28 28

第1章

HP Enterprise Collaborationとは

本章の内容

- •「概要」(7ページ)
- •「コンテキストベースの会話フロー」(8ページ)
- 「HP Enterprise Collaboration文書 ライブラリ」(10ページ)



HP Enterprise Collaboration (HP EC) は、非構造的なコラボレーションを構造化されたITプロセスと 連携させる包括的なソリューションです。HP ECではシステムデータを会話にリアルタイムで追加する ことにより、会話に最適なコンテキストを提供できます。

HP ECのデプロイメントでは、スタンドアロンアプリケーションの他、プラグインとしてエンタープライズ製品またはソリューションに直接統合することができます。

ワークフローのコンテキストでコミュニケーションを行う際に必要となる機能をITプロフェッショナルに提供 することによって、コミュニケーションプロセスに変化をもたらし、これが効率化や生産性へとつながりま す。

HP ECはオープンプラットフォームをベースに設計されているので、HP製品とHP以外の製品のシーム レスな統合を通じてHPユーザーのIT環境を統合し、HP ECのコラボレーション機能を既存のソリュー ションワークフローに組み込みます。



次の図は、HP ECと、製品および通信ツールとの関係を簡単に示しています。

コンテキストベースの会話フロー

次の図は、HP ECのフレームワークを使用した会話フローを示しています。



図の番号	説明
1	QAエンジニアは、ChromeブラウザーでOnline Bookstoreアプリケーションを実行中、重大な不具合を新しく発見しました。
2	QAエンジニアは、この不具合に関する会話をHP ECで新しく開始します。
3	HP ECでは、この不具合はオブジェクトとして会話に自動追加され、会話にはOBS_Defectというタグが付加されます。
HP ECシステム	アプリケーション開発チームのリーダーが、この会話の参加項補者として自動 的に提案されます。
4	QAエンジニアは、開発チームのリーダーを会話に追加します。
5	開発チームのリーダーはこれに応答し、不具合の詳細情報を表示するファセ ットを追加します。
6	開発チームのリーダーは、要件オブジェクトを会話に追加し、要件を表示する 簡単なファセットを選択します。
HP ECシステム	要件の作成者が、会話の参加候補者として提案されます。
7	開発チームのリーダーは、ビジネスアナリストを会話に追加します。
HP ECシステム	ビジネスアナリストは、Microsoft OutlookでALM Collaborationからの電子メール を受信します。ここでは、会話がスレッド表示されます。
8	ビジネスアナリストは電子メールに応答します。
9	チームリーダーは、アプリケーションでの応答を確認します。
10	チームリーダーは、開発者に不具合の修正を依頼します。
11	開発チームのリーダーは、開発者を会話に追加します。
HP ECシステム	開発者は、Microsoft Office Communicatorでチームからの要求を受信します。
12	開発者はタスクを承認し、QAエンジニアに詳細情報の提供を依頼します。
13	QAエンジニアは開発者からの依頼を受信し、対応します。
14	開発者はQAエンジニアからの応答を受信します。
15	開発者は問題を特定して修正し、修正済みのコードをSCMにチェックインしてから、SCM変更セットファセットを作成して会話に追加します。
HP ECシステム	会話、連絡先、オブジェクト、タグがすべて中央のリポジトリに保存されます。HP ECシステムに統合されているアプリケーションから、会話にアクセスおよび検索できます。

HP Enterprise Collaboration文書 ライブラリ

HP Enterprise Collaborationは、次のガイドとリファレンスがPDF形式で付属しています。HP Enterprise Collaborationのドキュメントの最新版については、次のHPソフトウェアの製品マニュアルウェブサイトにアクセスしてください。http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals このサイトにアクセスするにはHP Passportへの登録とサインインが必要です。

ガイド名	説明
HP Enterprise Collaborationイン ストールおよび構成ガイド	HP Enterprise Collaborationのインストールと構成方法を説明 しています。
HP Enterprise Collaborationコン セプトガイド	HP Enterprise Collaboration の概念、コンポーネント、会話 ワークフローについて詳しく説明しています。
HP Enterprise Collaboration Integration Guide	社内開発アプリケーションコンテンツを追加するアダプターの開発方法と、Enterprise Collaborationをサードパーティアプリケーションに統合する方法について説明しています。
HP Enterprise Collaboration Developers Guide	HP Enterprise Collaborationをユーザーが開発したアプリケーションに統合する方法について説明しています。
HP Enterprise Collaborationリ リースノート	HP Enterprise Collaborationに関する最新情報を紹介します。
HP Enterprise Collaboration Support Matrix	HP Enterprise Collaborationの詳細なシステム要件 と、Enterprise Collaborationで現在サポートされるHP製品と バージョンのリストを掲載します。
HP Enterprise Collaboration Open Sources and Third-Party Software Agreements	HP Enterprise Collaborationに付属するオープンソースコンポー ネントとサードパーティコンポーネントのライセンスのリストを掲載 します。

さらに、DVDの次の場所にHP Enterprise Collaborationのムービーがあります。

Documentation\Movies\HPEC_1.wmv

第2章

HP Enterprise Collaborationのコンポーネント

この章では、HP Enterprise Collaborationと統合機能を構成するビルディングブロックについて説明します。

HP Enterprise Collaborationコンポーネントの概 要

エンタープライズアプリケーションとITアプリケーションは複雑で、使用するには手間がかかります。十分なトレーニングが必要になるだけでなく、関連情報を取得しワークフローで求められるアクションを実行するためには短期間で学習を完了しなければなりません。

エンタープライズ環境では、さまざまなチームでアプリケーションに関する会話が進行していますが、会話のコンテキストに沿って一貫した方法で一元管理することにより、過去の会話内の同じトピックや 関連トピックを有効活用できます。たとえば、開発者が不具合を調査する場合、不具合の構造化 データのみでなく、不具合が発見されたときに行われたすべてのコラボレーションも活用することが可能 になります。

ここでは、次のトピックについて説明します。

- •「会話」(11ページ)
- •「会話のコンテキスト」(12ページ)
- •「参加者」(12ページ)
- 「ファセット」(12ページ)
- 「添付ファイル」(12ページ)
- •「表示設定」(13ページ)
- •「参加者コントロール」(13ページ)
- •「会話の受信トレイ」(13ページ)
- •「検索」(13ページ)
- •「分散コラボレーション」(14ページ)
- 「製品の統合」(14ページ)



HP ECで最も基本となるエンティティは会話です。会話とは、中央管理された一貫性のあるエンティ ティであり、オフラインとオンライン両方のコラボレーションをサポートします。会話は、電子メール、チャット、Wikiページ(十分な情報を蓄積でき、ユーザーコラボレーションに役立つ場合)を組み合わせたも のであり、将来的に参照できるナレッジベースとして活用できます。HP ECは、このようなコラボレーションが進行していく過程で、非構造的なコラボレーションデータで構成されるナレッジベースになります。

会話のコンテキスト

会話の特性として最も重要なのは、正式なコンテキストを持っているという点です。コンテキストとは、 会話の内容を示すテキストだけでなく、会話に関連付けられている管理対象ITオブジェクト (インシデ ント、不具合、KPIなど)も含まれます。

このようなITオブジェクトはIT環境内で稼働する各種アプリケーションで管理され、会話そのもののコン テキストであると同時に、アプリケーション内で会話と管理対象プロセス間を連携する役割もありま す。

会話には、ファセットを追加できます。ファセットとは、ソースアプリケーションのオブジェクト情報をコンテ キストで提示します。

参加者

会話を一元管理することによって参加者が会話を共有します。参加者はいつでも会話に参加または退出でき、すべての参加者が会話に関与します。

会話の参加者は、組織の従業員または組織外部の参加者のいずれかです。

会話を開始した参加者がその会話の所有者となり、他の参加者よりも大きな権限を持っています。

参加者候補

HP ECは、会話の正式なコンテキストに基づいて、関連ユーザーに会話への参加を提案する高度 な機能を備えています。大規模な組織では、役職はわかっていてもすべての参加者を個々に特定 することが難しい場合もあるので、この機能は特に重要です。たとえば、会話のコンテキストが不具 合である場合、HP ECは開発の所有者、QAの所有者、関連する要件アナリストを会話に追加す ることを提案します。このような提案情報は、会話の正式なコンテキストから取得されるので、統合 環境によって異なります (コンテキストベース)。

ファセット

ファセットでは、会話内からソースアプリケーションを使って、さまざまな側面から情報 (会話のコンテキスト内のオブジェクト)を利用することができます。ファセットは、シンプルで細分化された性質を持ち、 ソースアプリケーションについて高度な知識やスキルを持っていないユーザーでも必要な情報を会話 から直接取得できます。また、オープンなフレームワークが採用されているので、ユーザーと参加者 は、サードパーティアプリケーション向けに独自のファセットを作成できます。

添付ファイル

会話の参加者は、会話にファイルをアップロードまたはURLを添付できます。これにより、会話の利用者がこのコンテンツにアクセス可能になります。

表示設定

会話の表示設定レベルでは、会話へのアクセスを許可するユーザーを指定します。 デフォルトのレベ ルは公開であり、会話に直接参加していないHP ECユーザーであっても全員が会話にアクセスでき ます。会話の所有者は、表示設定を非公開に設定することにより、アクセスを参加者のみに限定で きます。

参加者コントロール

会話のコントロールレベルでは、会話に新しい参加者を追加する権限を持つユーザーを定義します。参加者コントロールには、全員、参加者、所有者という3つのレベルがあります。

- [全員] (デフォルト) 会話にアクセスできるユーザーであれば誰でも会話に参加でき、さらに他の ユーザーを追加できます。
- [参加者]-会話に現在参加しているユーザーのみが、新しい参加者を追加できます。
- [所有者]-会話の所有者のみが、会話に新しい参加者を追加できます。

注:会話のコントロールレベルを変更できるのは、会話の所有者のみです。

会話の受信トレイ

ユーザーは、受信トレイ内の会話に参加できます。新しい会話が作成された場合や、既存の会話 にアクティビティが新しく追加されると、即時で受信トレイが更新されます。会話をアーカイブすると、そ の会話は更新されるまで受信トレイから自動的に削除されます。また、受信トレイ内の会話のドリル ダウンも可能です。

受信トレイでは、会話の詳細情報 (会話の件名、表示設定、最後の3つの投稿など)が表示されます。

検索

HP Enterprise Collaborationの全文検索機能では、指定した条件に基づいて会話を簡単に特定 することができます。検索結果は、検索条件に基づいてソートされ、表示結果に関するヒントも表示 されます。

会話に含まれる次のフィールドを検索条件に指定することにより、簡単かつ迅速に検索を行うことが できます。

- 件名
- 投稿メッセージ
- 参加者
- context_object_id
- context_object_type
- context_object_description

会話のすべてのフィールドを検索するには、次の手順を実行します。

- 検索文字列を入力します。
- 単語を複数入力すると、いずれかの単語を含むすべての会話が結果として表示されます。指定したすべての単語を含む会話を検索するには、単語を"AND"でつなぎます。

例:title:Issue AND Important.

検索文字列の指定には、Luceneクエリー構文を使用できます。

例: (title:"Issue" AND body:"new defect") OR title:method

• 検索文字列には、ワイルドカードを使用できます。

例: title: Issue*を指定すると、Issue1、Issue242、Issue9999などに一致します。

特定のフィールドを対象に検索を行うには、次の手順を実行します。

• フィールド名の後にコロンと検索文字列を指定します。

例: subject:helloと指定すると、subjectにhelloという文字列が含まれる会話がすべて検索 されます。

message:helloと指定すると、いずれかの投稿にhelloという文字列が含まれる会話がすべて 検索されます。

分散コラボレーション

HP ECには、電子メールとMicrosoft Office Communicatorとの統合機能が付属します。この2つの通信チャネルから、HP ECの会話に直接参加できます。HP ECは、会話を一元管理するコラボレーションハブであると同時に、さまざまなツールとアプリケーションからの利用も可能です。エンドューザーは、 それぞれの方法でコラボレーションを実行できます。

製品の統合

HP ECは、HPの製品やサードパーティ製品と簡単に統合できます。統合したアプリケーションで管理 するエンティティのコンテキストで、会話を新規作成することができます。

第3章

HP Enterprise Collaborationユーザーインタ フェース

本章の内容

- •「[コンテキストオブジェクトの追加]ダイアログボックス」(16ページ)
- 「ユーザーセレクター」(17ページ)
- 「[ファイル/URLの追加] ダイアログボックス」(19ページ)
- 「[コンテキストオブジェクト/ファセット] ダイアログボックス」(20ページ)
- •「会話の受信トレイ」(20ページ)
- •「電子メール通知」(23ページ)
- 「[会話] ウィンドウ」(22ページ)
- •「[会話の一時停止]ダイアログボックス」(25ページ)

[コンテキストオブジェクトの追加] ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、選択したオブジェクト型とアプリケーションインスタンスに基づいてオブジェクトを検索します。アダプター検索条件を事前設定しておくと、検索をカスタマイズできます。

ストオブジェクト型を選択してから、		
	関連するアブリケーションインスタンスを選択しま	
/ト型:	オブジェクト型の選択	r
ーションインスタンス:	アプリケーションインスタンスの選択	•
ーションインスタンスオブジェクトの も1つの入力フィールドに値を入力す)検索条件を入力します。 する必要があります。	
r-JVF:		
	検索クリア	
キストオブジェクト(8/8	を表示)	
rinter keeps giving messa	age: out of order	
Error installing printer		
rinter malfunction		
rinter out of order		
rintjob is not printed		
rinter draw fault		
rinter keeps reporting "pri	nter out of paper", while it's not	

UI要素	説明
アプリケーションインス タンス	オブジェクトを管理するアプリケーションを指定します。
オブジェクト型	オブジェクト型を指定します。

ユーザーセレクター

ユーザーセレクターは、現在の会話に追加したいユーザーを簡単に検索できる機能です。

1人または複数のユーザーを追加できます。

ユーザーの追加

[ユーザーの追加]フィールドでは、次の方法でユーザーを検索できます。

- 先頭の文字を入力する
- 電子メールアドレスを入力する

追加できるのは、組織内のユーザーまたは外部ユーザーです。

1. 組織内のユーザーの場合、ユーザー名の先頭の4文字以上を入力します。また、下の例で示 すように、ユーザー名には空白文字を指定できます。Enterprise Collaborationは、指定された 文字と一致する名前を自動的に検索し、一覧表示します。名前と一緒に、電子メールと画像 (存在する場合)も表示されます。次に例を示します。

Interprise Collaboration	ユーザー ••• ログアウト 岡・Q
	会議の出席依頼 日中の航いエントリー、合計件数
sa sa I C Ø	sa sa: 会議の出席依頼 2012/09/21 11:37
ユーザーを会話に適加 参加者者 参加者者 登訪 Smith Eco amin3@sp.com Bob Smith Eco amin3@sp.com Bob Smith Eco amin3@sp.com	
Bebble Smith bobble smith golp.com	

- 2. リストを下方向にスクロールして名前を選択し、[Enter] キーを押すか名前をクリックします。 名前が[ユーザーの追加] フィールドに追加されます。
- 3. 外部ユーザーの場合は、[ユーザーを会話に追加] フィールドに電子メールアドレスを入力します。
- 4. **Imprave Prave Prove Prov**

複数ユーザーの追加

複数のユーザーを会話に追加するには、次の手順を実行します。

- 1. [複数の参加者を会話に追加]をクリックします。[参加者の追加]ウィンドウが開きます。
- 2. ユーザーの電子メールアドレスをセミコロンで区切って入力します。 追加 できるのは、 組織内の ユーザーまたは外部 ユーザーです。 例:

参加者	会議の出席依頼	*1
sa sa	sa sa: 会議の出席依頼 2012/09/21 11:37	
ユーザーを会話に追加)]
参加者候補	電子メールアドレスをセミコロン区切りで入力します	
候補は見つかりませんでした	bob@hp.com;ada@hp.com;sally@hp.com	
関連する会話	道加キャンセル	

3. [追加]をクリックすると、ユーザーが会話に追加されます。

注: 複数のユーザーを追加する場合、1つでも無効な電子メールアドレスが含まれていると、指定したユーザーはすべて追加されません。

電子メールによる参加者の追加

Enterprise Collaborationには、電子メールを送信することにより、ECの会話に新しい参加者を追加 する機能があります。

注: この機能は、デフォルトでは無効になっています。有効にするには、JMXコンソールを使用します。詳細については、『Enterprise Collaboration インストールおよび構成ガイド』を参照して ください。

新しい参加者を追加するには、次の手順を実行します。

1. 既存のEC電子メールの中から目的の会話に関するものを選択し、返信します。[Cc:] フィール ドに新しく参加者として追加したいユーザーの電子メールを入力します。

注:会話の所有者は、組織外部のユーザーを追加することもできます。

2. 電子メールの本文にコメント/投稿を入力し、電子メールを送信します。

- 3. 参加者が自動的に会話に追加され、コメントが会話の新規投稿として追加されます。
- 4. 注:会話が[非公開]に設定されている場合、会話の所有者以外のユーザーがこの操作 を行っても、参加者は会話に追加されません。ただし、詳細情報が電子メールで通知さ れ、送信した電子メールの内容が新規投稿として会話に追加されます。
- 5. 新しい参加者は、会話に追加されたことを通知する電子メールを受信します。
- 6. 新しい参加者は、電子メールに記載されたリンクから会話に参加できます。また、通常の電子 メールと同様に、電子メールに返信することもできます。

注:電子メールにユーザーを複数追加した場合、その中に無効なユーザーが存在すると、いずれのユーザーも会話に追加されません。送信した電子メールの内容が新規投稿として会話に追加されます。

[ファイル/URLの追加] ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、ファイルまたはURLを会話に追加します。

ファイルNRLの追加			×
Type:	⊙ File	O URL	
ファイルの選択: *		参照	
説明:			
		ок キャンセル	

[コンテキストオブジェクト/ファセット] ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、選択した会話に関連するコンテキストオブジェクトが表示されます。



会話の受信トレイ



UI要素	説明
*	[新しい会話]をクリックすると、HP ECで会話を開始できます。
¢.	[会話のアーカイブ]をクリックすると、受信トレイの会話がアーカイブに移動します。
9	[受信トレイに会話を復元]をクリックすると、会話がアーカイブから受信ト レイに移動します。
(a)	[会話の一時停止]をクリックすると、指定した期間、会話がアーカイブに 移動します。
Ø	[会話リストの更新]をクリックすると、会話リストが更新されます。
<u>a</u>	[検索結果に戻る]をクリックすると、検索結果の表示ウィンドウに戻ります。
Ge	[添付]をクリックすると、会話にリンクされているURLが表示されます。
4	[添付ファイル]をクリックすると、会話に添付されているファイルが表示されます。
+	[追加]をクリックすると、オブジェクトが会話に追加されます。

会話のステータスインジケーター

UI要素	説明
Ø	一時停止オン
ک	再開した会話
	緊急の要求
	非公開の会話
0	進行中の会話
	会話を展開

[会話] ウィンドウ

このウィンドウでは、参加者の追加、ファセットの追加、参加候補者の提案など、幅広い機能やオプションを使用できます。



UI要素	説明
Imi	[リストに戻る]をクリックすると、最後のフォルダーまたはURL起動結果に 戻ります。
	[投稿の追加]をクリックすると、投稿が会話に追加されます。
+	[会話に追加]をクリックすると、オブジェクト、ファセット、ファイル、URLを会話に追加できます。
נונ	[ツール]をクリックすると、HP ECの会話の設定、操作オプション、コント ロールにアクセスできます。
2	[参加者の追加]をクリックすると、参加者を会話に追加できます。
1	[選択した参加者を必須に設定]をクリックすると、選択した参加者を必須に設定し、Office Communicatorの通知と電子メールを参加者に自動送信します。

電子メール通知

オフライン状態 (Enterprise Collaborationにログインしていない状態)の参加者には、会話の内容を記載した電子メールが送信されます。

Enterprise Collaborationでは、スパムメールに対する予防策として、投稿ごとではなく、数分ごとに投稿をまとめたサマリーを電子メールで送信します。次に例を示します。



会話にファイルが添付されている場合、参加者が電子メールを受信すると添付ファイルが表示され ます。次に例を示します。



会話にURLがリンクされている場合、参加者が電子メールを受信するとURLリンクが表示されます。 次に例を示します。



サマリー電子メールのパラメーター

管理者は、JMXコンソールで次のパラメーターを設定することにより、サマリー電子メールを送信するタイミングを設定できます。

パラメーター	説明
default.email.publish.regular.min	最後の投稿からサマリー電子メールを送信するまでの時間(分単位)。
	投稿のたびに電子メールを送信する場合は、ゼロ(0)に設定 します。
default.email.publish.regular.max	会話の進行中に (default.email.publish.regular.minの値より も短い間隔で新規投稿が発生する状態)、サマリー電子メー ルを送信するまでの時間 (分単位)。
default.email.publish.urgent.min	必須の参加者に対して、最後の投稿からサマリー電子メール を送信するまでの時間 (分単位)。
	投稿のたびに電子メールを送信する場合は、ゼロ(0)に設定 します。
default.email.publish.urgent.max	会話の進行中に (default.email.publish.regular.minの値より も短い間隔で新規投稿が発生する状態)、必須の参加者に 対して、サマリー電子メールを送信するまでの時間 (分単 位)。

会話の表示設定

このオプションでは、現在の会話の表示を許可するユーザーを定義します。

[ツール] > [会話の表示設定]をクリックし、次のいずれかのオプションを選択します。

- [公開]-この会話の表示をすべてのECユーザーに許可します。
- [参加者のみ] この会話の表示を、現在会話に参加しているユーザーのみに許可します。

注:表示設定を変更できるのは、会話の所有者(会話を開始した参加者)のみです。

[会話の一時停止] ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、会話を一時停止します。これにより、指定した時刻まで会話は受信トレイから削除されます。

会話の一時停止	× 2 2	a sa na 2008/2774 674 0		KSON X
◎ 一時停止の継続期間を設定		1	時間	~
○ 一時停止の解除日時を設定		12/09/20	12:45	¥
	ок	キャンセル		

UI要素	説明
一時停止の継続期 間を設定	会話を一時停止する時間の長さを指定します。
ー 時 停 止 の解 除 日 時を設 定	指定した日時まで、会話を一時停止します。

第4章

デスクトップクライアント

デスクトップクライアントアプリケーションは、ECの会話が変更された場合に変更内容に関する通知を 表示するツールです。

Enterprise Collaborationで現在進行している会話について、参加者に関連情報を表示します。 デスクトップクライアントは、次のようなイベントが発生すると、すぐに通知を送信します。

- 未読の会話が新しく発生した場合
- ユーザーが会話に追加された場合
- ユーザーが会話から削除された場合
- ユーザーが会話の必須参加者として指定された場合
- ユーザーが会話で任意の参加者として指定された場合
- デスクトップクライアントのステータスが変更された場合

デスクトップクライアントはバックグラウンドで実行され、Enterprise Collaboration Webアプリケーションの終了後も継続して稼働します。

デスクトップクライアントをインストールすると、アイコンがステータスバーに追加されます。

ステータスバーのアイコンの上にマウスカーソルを置くと、デスクトップクライアントの現在のステータス、未 読の件数、必須の会話の未読件数が表示されます。次に例を示します。

1

デスクトップクライアントのアイコンとアラート

ここでは、デスクトップクライアントのステータスバーに表示されるアイコンとアラートについて、次のトピックを説明します。

- 「デスクトップクライアントのアイコン」(26ページ)
- •「デスクトップクライアントのアラート」(27ページ)

デスクトップクライアントのアイコン

ここでは、ステータスバーに表示されるデスクトップクライアントのアイコンを説明します。アイコンの上には、未読の会話の件数と、必須の会話の未読件数が表示されます。

デスクトップ クライアント のアイコン	説明
	未読の会話はありません。
2	未読の会話があります。
2	必須の参加者として指定されている会話の中に、未読の会話があります。
	次のいずれかの場合、このアイコンが表示されます。
	 デスクトップクライアントがEnterprise Collaborationサーバーに接続されていません。
	 インストール時の設定に誤りがあります。
	 入力したユーザー名またはパスワードに誤りがあります。

デスクトップクライアントのアラート

ここでは、会話の参加者がさまざまな操作を実行した際に表示されるデスクトップクライアントのアラートについて説明します。

デスクトップクライアントのアラート	説明
Dudu Katz has marked you as a required participant Subject: Test Subject: T	会話の必須参加者とし て指定されました。
Dudu Katz has marked you as a non-required participant X Subject: Please explain how this works Image: Comparison of the system	会話の必須参加者とし てのステータスが解除さ れました。
Dudu Katz has added you to the conversation Subject: What time is it now? Image: Conversation	会話に追加されました。
Dudu Katz has removed you from the conversation Subject: What time is it now? Image: Conversation in the conversation is a state of the conversatio	会話から削除されました。

デスクトップクライアント のショート カット メニュー

デスクトップクライアントのアイコンを右クリックすると、ショートカットメニューにアクセスできます。

Go to HP EC
Disconnect from HP EC
Settings
Exit

ショートカットメニューでは、HP Enterprise Collaborationへの接続と切断、デスクトップクライアントの設定変更、デスクトップクライアントの終了など、さまざまな操作を実行できます。

HP ECへの接続

HP EC サーバーに接続するには、次の手順を実行します。

1. [Go to HP EC] を選択します。

Enterprise Collaborationサーバーに自動的にログインし、未読の会話の件数と必須の会話の件数が表示されます。

2. サーバーにすでに接続している場合は、Enterprise Collaborationで前回表示したページが開き ます。

注: Enterprise CollaborationのLWSSO構成上、ログインには、システムに前回アクセスしたユー ザーの名前が使用されます。

HP ECからの切断

HP ECサーバーから切断するには、次の手順を実行します。

• [Disconnect from HP EC] を選択します。

デスクトップクライアントのアイコンが 🖬 に変 わります。

デスクトップクライアントの設定変更

デスクトップクライアントの現在の接続設定を変更するには、次の手順を実行します。

1. [Settings] を選択します。

デスクトップクライアントの設定ウィンドウが開き、現在の接続設定が表示されます。

HP EC De	sktop Client 1.5.2	X
	HP EC host:	
$\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{\mathbf{$	host1235	
	HP EC port:	
	8080	
	User name:	
	bob.smith@hp.com	
	Password:	

	🔽 Enable logs	
	Run on startup	
	OK Cancel	

2. 次の説明を参考に、フィールドを変更します。

フィールド	説明
HP EC host	HPECサーバーの名前。
HP EC port	HPECサーバーへのアクセスに使用するポート。
User name	HP ECへのログインに使用するユーザーの名前。
Password	HP ECへのログインに使用するユーザーのパスワード。
Run on startup	コンピューターの起動または再起動時にデスクトップクライアントを 自動的に起動します。
Enable logs	デバッグ用に、 デスクトップクライアントのアクティビティを記録するロ グファイルを作成します。 ログファイルのデフォルト名は desktop- client.logであり、 次のディレクトリに保存されます。
	C:\ <installation_dir>\HP EC Desktop Client\logs</installation_dir>

3. [OK] をクリックします。